



安全データシート

【1. 製品及び会社情報】

製品名

コンクリートの安心補修スティック

会社名

住友大阪セメント株式会社

住所

東京都千代田区六番町6番地28

担当部門

建材事業部 関連事業グループ

電話番号

03-5211-4755

FAX番号

03-3221-5183

緊急連絡先

建材事業部 関連事業グループ

緊急連絡電話番号

03-5211-4755

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

健康に対する有害性 : 皮膚腐食性・刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1
発がん性 : 区分1A
特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分1(呼吸器系)
特定標的臓器毒(反復暴露) : 区分1(呼吸器系、腎臓)
上記で記載が無い危険有害性は、分類対象外か分類できない。

環境に関する有害性 : 分類できない。

GHSラベル要素

シンボル



安全データシート

- 注意喚起語 : 危険
- 危険有害性情報 : 重篤な皮膚の損傷。
重篤な眼の損傷。
発がんのおそれ。
吸引した場合、臓器（呼吸器系）の障害のおそれ。
呼吸器の障害。
長期または反復暴露による呼吸器系、腎臓の障害のおそれ。
- 注意書き
- 安全対策 : 仕様前に本書を入手し全ての安全・注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
適切な保護手袋を着用すること。
適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉塵、ミスト、蒸気の吸入を避けること。
換気が十分でない場合には、適切な呼吸用保護具を着用すること。
- 救急措置 : 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
眼に入った場合、水で15分間以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合は、水道水で洗浄すること。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
吸入した場合、呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
- 保管 : 施錠して保管すること。
- 廃棄 : 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

分類に関係しないその他の危険有害性

- : 水と反応し、アルカリ性(pH12～13)を呈する。

【3. 組成・成分情報】

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

セメント

安全データシート

成分	含有量 (%)	化学式又は構造式	官報公示整理番号(化審法)	CAS No.
ケイ酸カルシウム	30~60	$3\text{CaO}\cdot\text{SiO}_2, 2\text{CaO}\cdot\text{SiO}_2$	(1)-194	65997-15-1
アルミン酸カルシウム	10~35	$3\text{CaO}\cdot\text{Al}_2\text{O}_3, 12\text{CaO}\cdot7\text{Al}_2\text{O}_3, \text{CaO}\cdot\text{Al}_2\text{O}_3$	(9)-2408	65997-16-2
炭酸カルシウム	30~45	CaCO_3	(1)-122	471-34-1
硫酸カルシウム	3~12	$\text{CaSO}_4, \text{CaSO}_4\cdot2\text{H}_2\text{O}, \text{CaSO}_4\cdot1/2\text{H}_2\text{O}$	(1)-193	7778-18-9
二酸化ケイ素※1	10~30	SiO_2	(1)-548	7631-86-9
酸化カルシウム※2	0~2	CaO	(1)-189	1305-78-8
酸化鉄※3	0~3	Fe_2O_3	(1)-357	1309-37-1
その他の含有成分	5~10	非公開	—	—

※1 この内、遊離シリカの含有量は1~40%である。

※2 この内、遊離酸化カルシウムの含有量は2%以下である。

※3 化合物として含有する。

労安法

「労働安全衛生法第 57 条の 2」施工令第 18 条の 2 別表 9（名称等を通知すべき危険物及び有害物）

・シリカ

PRTR 法：該当しない

毒劇物法：該当しない

【4. 応急措置】

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、清浄な水でよくうがいをする。必要に応じ医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合

清浄な水で洗浄する。必要に応じ医師の診察を受けること。

目に入った場合

清浄な水でよく洗浄した後、眼科医の診察を受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。医師の診察を受けること。

最も重要な徴候および症状：情報無し

応急措置をするものの保護：保護服・保護具を着用すること。

【5. 火災時の措置】

消火剤

水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素など。

安全データシート

使ってはならない消火剤

情報無し

火災時の特定危険有害性

不燃物質であるため製品自体は燃焼しない。

特定の消火方法

周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周辺に散水冷却して延焼を防ぐ。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な保護具（耐熱手袋、保護衣、防災面など）を着用すること。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項

発塵する場合は回収作業に防塵マスク、手袋、保護メガネなど適切な保護具を着用すること。

保護具および緊急時措置

漏出時の処理を行う際には、前述のような保護具を使用すること。

環境に対する注意事項

漏出物が河川、水路等に流出・飛散しないように注意すること。

濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとること。

収集物は産業廃棄物として処理すること。

封じ込めおよび浄化の方法・機材

粉塵が立たないように、真空掃除機を使用すること。付着して回収しきれないものは水で洗浄すること。洗浄水はアルカリ性を呈するので、必要に応じて中和や希釈の措置をとること。

二次災害の防止策

粉塵の発生、拡散を防ぐこと。

水で洗浄する場合は床が滑りやすくなるので多量の水でよく洗い流すこと。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い

技術的対策 : 『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。

局所排気・全体換気 : 『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行うこと。
屋外ではできるだけ風上から作業すること。

安全取扱注意事項 : 発塵する場合には、防塵マスクを着用すること。
屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。
接触、吸入または飲み込まないこと。

安全データシート

取り扱い後は良く手を洗うこと。

保管

- 適切な保管条件 : 乾燥した換気の良いところで保管すること。
水と接触のおそれがない場所に貯蔵すること。
- 安全な容器包装材料 : 防湿性の容器

【8. 曝露防止及び保護措置】

設備対策

空気中の濃度を暴露限度以下に保つための局所排気装置、手洗い

管理濃度

: 土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん

$$E = 3.0 / (1.19Q + 1) \quad E = \text{管理濃度 (mg/m}^3\text{)} \quad Q : \text{遊離けい酸 (結晶質シリカ) 含有率 (\%)} \\ Q = 40\% \text{ のとき、} E = 0.062 \text{ mg/m}^3$$

許容濃度

日本産業衛生学会 (2010 年)

吸入性結晶質シリカ	0.03mg/m ³ (結晶質シリカ)
第2種粉塵	吸入性粉塵 1mg/m ³
	総粉塵 4mg/m ³

ACGIH

TLV-TWA (2010 年)

0.025mg/m³ (結晶質シリカ)

保護具

- 呼吸器の保護具 : 防毒マスク・防塵マスク・空気呼吸器 (管理濃度を超える場合)
- 手の保護具 : 保護手袋(ゴム、皮)
- 目の保護具 : 保護メガネ、防災面
- 皮膚及び身体の保護具 : 帯電防止性能を有する長袖の保護衣、安全靴

適切な衛生対策

- : 保護具は清潔な一定の場所に保管し、有効期限が切れたものは使用しない。取り扱い場所の近くに手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明示すること。
- 作業中は飲食・喫煙はしないこと。

【9. 物理的および化学的性質】

- 物理的状態 : 固体
- 形状 : 粉末
- 色 : 灰白色
- 臭い : 無臭
- pH : 水と接触すると 11~13

安全データシート

融点	: 約 1000°C以上
比重（相対密度）	: 2.60～3.00 g/cm ³ （20°C）
溶解性	: 水に難溶
その他	: 爆発性なし、水硬性

【10. 安定性及び反応性】

安定性	: 常温で化学的に安定である。 水と反応して安定固定化する。
危険有害反応可能性	: 該当しない。
危険有害な分解生成物	: 該当しない。

【11. 有害性情報】

急性毒性	: 情報なし
皮膚腐食性／刺激性、眼に対する重篤な損傷／刺激性：	水と接触すると強アルカリ性（pH11～13）を呈し、眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギー反応が起こる可能性がある。
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし。結晶質シリカは、IARC で Group 1 に分類されていることから、区分 1A に分類されている。本製品は、区分 1A である結晶質シリカを 0.1% 以上含有する可能性があるため区分 1A に分類した。
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性（単回暴露）：	データなし。短期暴露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼす結晶質シリカを最大 40%含む可能性があるため、区分 1（呼吸器系）に分類した。
特定標的臓器毒性（反復暴露）：	多量に長時間吸入すると「じん肺」になる恐れがある。特定標的臓器毒性（反復暴露）を持つと分類されている結晶質シリカを最大 40%含む可能性があるため、区分 1（呼吸器系、腎臓）に分類した。
吸引性呼吸器有害性	: データなし

安全データシート

【12. 環境影響情報】

予測される挙動／起こり得る影響

環境影響／生態毒性：接触水はアルカリ性（pH 11～13）を呈するから、環境影響を及ぼさないように注意する。

残留性／分解性：情報なし

生体蓄積性：情報なし

土壌中の移動性：情報なし

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物

：固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。

：洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。

：処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理表（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する

汚染容器・包装

容器は、産業廃棄物として処分する。

【14. 輸送上の注意】

国際規制

国連分類：該当しない

国連番号：該当しない

国連輸送品名：該当しない

容器等級：該当しない

海洋汚染物質：該当しない

国内規制：該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

保護具、消火器を携帯する。

容器に破損、内容物の漏れがない様に運搬する。

転倒、落下、損傷がないように荷崩れの防止を確実に行う。

水濡れ、直射日光があたらないようにする。

安全データシート

【15. 適用法令】

じん肺法

労働安全衛生法粉塵障害防止規則第2条 粉塵作業

労働安全衛生法 : 57条の2第1項、通知対象物政令番号312号 シリカ

地球温暖化対策の推進に関する法律

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

【16. その他の情報】

本データシートは、日本工業規格Z7253:2012「GHSに基づく化学品の危険性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱い事業者にご提供するものです。

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。

本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱い事業者はこれを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実体に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。